

第6回 谷口雅春先生報恩 全国練成会

各地より 105名が参集!!



道場で集合写真 (2日目)

心が救われ、身体が救われ、魂が救われ、人生が救われる。
—ここに、本当の「生長の家」練成会があった

去る9月16日から18日まで「第6回谷口雅春先生報恩 全国練成会」が、3年8ヶ月のコロナ禍を乗り越えて再開されました。`待っていました!、と全国から105名が参集。「本来人間神の子完全円満」の真理にどっぷりつかり、神界からの谷口雅春先生のみ愛につつまれた温かい練成会になりました。(主催:公益財団法人生長の家社会事業団)

練成主任より

“永遠の谷口雅春先生”が
 ここに天降る練成会

國弘昭義練成主任
 道場正面に飾られた谷口雅春先生の大きなお写真。合掌される尊いお姿に見守られ導かれながら、105名の参加者は歓喜の渦に包まれました。

コロナ禍を乗り越え、3年8ヶ月ぶりに開催された「第6回谷口雅春先生報恩全国練成会」は、北は岩手県から南は宮崎県まで全国各地より45名の初参加者を含む105名の方がお集まりくださいました。

底抜けの笑いと「ありがとうございます」の声響く道場で、真理講話、個人指導、先祖供養祭、浄心行、祈り合いの神観と行事が進む中、参加者全員が新生の喜びを発表されたのです。

実母と和解し悲しみの涙が歓喜の涙に変わったAさん、メンタル不調から立ち上がったBさん、亡き夫を赦し自己処罰から解放されたCさん：まさに永遠の谷口雅春先生の教えが今ここに天降る感動の練成会でした。

ゲスト講師より

私の魂が新生した練成会

熊本司講師

私は飛田給練成道場で20年以上、練成会に携わってきました。3年前に退職してからは、全国大会に参加したり、社会事業団の神癒聖經供養を担当し、図書資料館で行っている「真理」の勉強会に出講しています。

この度、初めて「谷口雅春先生報恩全国練成会」に出講し、久しぶりの方、新しい方との魂の出会いがたくさんありました。

又、先祖供養祭、浄心行、祈り合いの神観、講話、よろこびの座談会等の全ての行事を通して、講師という立場でありましたが、私の魂が生まれ変わりました。

この練成会の感動が、これからの活動の力となりました。

なつかしい!!生長の家の
 正當本格練成会

板垣雅勝講師

私は現在、生長の家創始者谷口雅春先生を学ぶ会の全国講師をしております。「第6回谷口雅春先生報恩全国練成会」(生長の家社会事業団主催)にはじめて出講させていただきました。

はじめての場所にもかかわらず「なつかしい」という感情が湧き上がりました。なぜかということがわかりました。それは「谷口雅春先生報恩全国練成会」の名の通り。ここには生長の家創始者谷口雅春先生がご指導された愛にあふれた正當な「生長の家」があるということです。

谷口雅春先生ご指導通りの「浄心行」「先祖供養祭」「祈り合いの神観」「生命の真相」を中心に聖典テキストを使っての各講話。そして「神観練習」「笑いの練習」「聖歌合唱」。さらに充実した「よろこびの座談会」「個人指導」。後世に伝えるべき感動の生長の家の正當本格練成会がここにありました。

生活が変わり、人生が変わり、運命が変わる練成会!!

—真理にどっぷりつかり心も魂も浄まって

参加者感想文より

帰りの車中で

涙止まらず

宮崎県 剣田 昌伸 (60歳)
今回は息子のことと、私自身の健康面のことを解決したいと思い参加させて頂きました。

初日に個人指導をして頂き、生長の家の教えでは、子どもの問題は親の責任とっておりました。先生に「あまり自分を責めすぎたのでは」とお言葉をいただき胸が軽くなりました。

練成会中、たくさんの「ありがとうございます」と「笑い」が頭にこびりついて、練成の素晴らしさに驚くばかりです。

最終日、仕事の都合があり昼で帰途につきましたが、飛行機をおりて車で帰宅する間、涙が止ま



1日目「先祖供養祭」

らず、その後、胸がスツートと楽になりました。知り合いもなく不安でしたが、思いきって参加して本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。

魂が温泉につかっているような

大安、心を得て



千葉県 長井恒平 (52歳)
長年、うつ状態で引きこもりがちです。22年前に参加した富士河口湖の練成を思い出し、解決のきっかけがほしくて、この練成会に参加しました。

大きな實相額が掛かっていて、昔の「生長の家」の雰囲気そのままの道場で講話を拝聴していると、まるで魂が温泉につかっているようで、大きな安心とよろこびにつつまれました。

個人指導では、愛を出していく大切さを教えていただき、日々の生活で「笑い」「愛を現す」「徳を積む」ことを日々心がけていきたいと思えます。又、「笑いの大会」では一等賞をもらうことができました。これは今の私の



2日目「浄心行」

実力というよりも、これから、この一等賞を忘れずに生活してほしいという激励のこもった賞だと思えます。この激励を忘れず、毎日「笑いの練習」を実践していきます。

涙、涙の三日間

愛知県 野村幸枝 (73歳)
「練成会」に初めて参加しました。気軽な気持ちで参加したのですが、聖歌を歌っても、講話を聴いても、浄心行でも、三日間、涙、涙でした。とりわけ「祈り合いの神想観」では、祈る側で祈っている私が涙流れて深い感動を受けました。

今まで神想観が苦手でしたが、家に帰ってからは「神想観」をしっかりと実践して神の子の本当の生命をしっかりと観られるようになりましたと思えます。

報恩感謝で新しい方を練成会に

埼玉県 瀧くに子 (66歳)
5年前、主人が脳梗塞で倒れ、その後鬱病も併発して、主人の病気が癒えることばかりを願ってこの練成会に



3日目「祈り合いの神想観」



「神の子、のよろこび噴き上がる「笑いの大会」

三、四、五回に参加しました。御陰様で主人は元氣になり、毎日幸せを感じながら生活しております。

第五回の「祈り合いの神想観」で、ご自分の癌でなく、主人の病気の治療を願って前に出てくださった通善ご夫妻に、この度再会し喜び合うことができました。以前は皆様に祈って頂いたことを思い出して、「祈り合いの神想観」で一所懸命祈らせていただきました。私の決意は、この素晴らしいみ教えをご縁のある方々にお伝えし新しい方をお誘いして練成会に参加することです。

参加者代表謝辞より

これからは「魂の喜ぶ生き方」を



長野県 上條啓子 (65歳)
講師の先生方、スタッフの皆様、三日間本当にありがとうございました。

この練成会で感じたことを二つ発表させていただきます。一つは、谷口雅春先生が残されたこんな素晴らしい団体があることを知らずにいた自分を反省しました。今後「生長の家社会事業団」のお役に立つ決意をしました。

二つ目は、谷口雅春先生のみ教えと、願いと、志にふれ、自分の小さな悩み、どうしてこんなことを悩んでいたのだろうと思えました。お誘いして一緒に参加した人達の喜ぶ姿をみて、自分のことより嬉しかった。これからは、このみ教えを沢山の人にお伝えし「魂のよろこぶ生き方」をしていきます。